

ぬくもり

橋本地区社会福祉協議会だより

第42号

発行 橋本地区社会福祉協議会
会長 森 誠 壽
事務局 緑区合同庁舎社会福祉協議会内
TEL 042-775-8601

人口 73,737 (-429) 世帯数 36,678 (+47) 自治会数 30 (令和5年11月1日現在)

誰もが社会参加できる地域を目指して



橋本地区社会福祉協議会（以下橋本地区社協）は緑区合同庁舎の2階、相模原市社会福祉協議会緑区事務所の中に事務局があり、地域のみならず安全に営めるよう、みなさんの暮らしをサポートする活動を日々行っています。

地区社協を構成する主体は、あくまで橋本地区で暮らす住民の皆さまです。加えて、社会福祉をはじめとした、各専門分野の関係者や団体、機関によって構成されています。具体的には各単位自治会からの代表者の皆さんや民生委員児童委員協議会からの代表者、老人クラブやサロン、ボランティア団体の皆さんです。

地区社協では、地域のつながりの希薄化による問題など

を一例とした福祉課題を地域にお住まいのみなさんが自ら発見・把握し、その解決に向けた取り組みを行うことを促すとともに、福祉活動への参加を促進することをめざしています。

また、そのため地域の同士が繋がりをつくれるよう、地域コミュニティの充実に力を入れています。そこから発生の家がふれあいの家「ぬくもり」です。「ぬくもり」は現在橋本地区にひとつしかありませんが、橋本地区にお住まいの方であればだれでもいつでも利用できるスペースで、現在は土日を除く平日に定期的に催し物を開催しています。

◎市社協と地区社協の関係

市社協と地区社協は相模原市における地域福祉を推進するうえでの車の両輪の関係であり、上下の組織関係ではありません。

市社協は地区社協を相模原市における小圏域での地域福祉の推進役と位置づけてその活動がより活発になるよう支援を行っています。

ふれあいの家「ぬくもり」



No	催し	開催日時
1	いきいき百歳体操	毎週 火曜日 13:00~15:45
2	ぬくもり喫茶	第1,3木曜日 10:30~15:30
3	麻雀の日	第2,4水曜日 9:30~12:30 13:00~16:00
4	ぬくもり子育てサロン	第4火曜日 10:00~11:45
5	映画の日	第4木曜日 13:00~16:00
6	手芸・折り紙の日	第4金曜日 10:00~11:30
7	ぬくもりよろず相談	毎週 木曜日 13:00~16:00



地域住民の福祉活動拠点「ぬくもり」では、「ぬくもり喫茶」「映画の日」「手芸・折り紙の日」「いきいき百歳体操」などを開催しています。(令和5年12月時点)

橋本地区社協 活動報告 令和5年度

橋本地区社協事業

5月 《役員会》
《総会》

6月 《役員会》
《理事会》

7月 《サロン情報交換会》
《一般賛助会員募集》
自治会にご協力いただいています。
(実績額 1,318,200円)
《活動育成費の交付》

8月 《七夕まつり招待激励事業》

9月 《ふれあい招待事業》

《米寿祝い記念事業》
88歳の米寿をお祝いし記念品と寿詞
賞状をお届けしました。(289名)

10月 《役員会》

《街頭募金》
自治会、民児協等にご協力いただいています。
(募金額 120,081円)

参加団体

相原森下自治会	橋本四丁目自治会
相原当麻田自治会	小山寿町自治会
相原森の上自治会	小山高砂町自治会
二本松自治会	小山久保町自治会
二本松三丁目自治会	東橋本第一自治会
二本松町内会	東橋本第二自治会
西橋本四丁目自治会	東橋本南自治会
わかば自治会	小山本町自治会
上松並自治会	宮上本町自治会
橋本上町自治会	橋本四丁目団地自治会
橋本末広町自治会	橋本地区民生委員児童委員協議会
橋本三丁目新町自治会	橋本男性ボランティア「やってみよう会」
	橋本地区の福祉を考える会
	JA相模原女性会旭支部

《赤い羽根共同募金》
自治会にご協力いただいています。
(募金額 1,428,763円)

《福祉募金》
民児協にご協力いただいています。
(募金額 374,000円)

11月 《理事視察研修》 東光院〈大磯〉

《年末たすけあい募金》
自治会にご協力いただいています。
(募金額 523,760円)

令和6年

1月 《機関紙「ぬくもり42号」発行》

2月 《福祉講座》
毎年橋本地区社協が企画し開催しています。
令和5年度は2月18日(日)に開催します。

(募金額・実績額は令和5年12月1日時点)

長い夏、短い秋の一年が終わり、新しい年を迎えました。平易で達成可能な目標を立てましょう。目標に向かって努力する事で、毎日が充実したものになります。穏やかで争いのない充実感のある日々を過ごしたいですね。

◎編集後記

あたたかい心を
ありがとうございます

- 橋本連合自治会 (愛の二円塔)
- 相模原市社会福祉協議会
- 寄贈
- イオン橋本店
- 黄色いレシートキャンペーンギフトカード
- 株式会社 永田屋
- 橋本四丁目自治会
- 森 誠 壽
- 橋本三丁目新町自治会

「寄付をいただき心より
お礼申し上げます 敬称略」

おめでとうございます 敬称略

☆相模原市社会福祉協議会顕彰

安藤 和実	藤嶋 直司
大前 六平	川口 勝也
中村 政生	新野隆太郎
吉川 恵美子	濱口 万喜子
安藤 和実	藤嶋 直司
大前 六平	川口 勝也
中村 政生	新野隆太郎
吉川 恵美子	濱口 万喜子

☆橋本地区社会福祉協議会褒賞

安藤 和実	藤嶋 直司
大前 六平	川口 勝也
中村 政生	新野隆太郎
吉川 恵美子	濱口 万喜子

あの町この町

みやかみ

心地よい居場所づくり

宮上地区には、青少年健全育成の場として、宮上児童館があります。昭和42年に相模原市立の施設として木造の児童館が建設されました。相模原市では、平成18年度児童館をはじめとした児童厚生施設のさらなる充実のために、児童館は民間委託方式から市の直営による運営へと変わりました。月日が経つにつれて、宮上児童館にも老朽化のなみが押し寄せ地元からは立替えの要望が沸き上がり、地域の方々の熱い思いが相模原市を動かすことになり、旧児童館の立て替え工事が開始されました。そして解体から半年後の平成25年4月1日に、地域の方々が待ち望んでいた現在の新しい児童館が完成したのです。

今も昔と変わらず、児童館に笑顔で来館する子どもたちの元気な姿があります。また、最近では、乳幼児を連れたいお母さん方の来館も多くなり、のびのび遊ぶ子どもたちと、子育て談義に花をさかせ

るお母さん方の、ほほえましい姿もみられるようになっています。誰かに話ができることや、心地よい居場所があることは、大人にも子どもにも必要不可欠だと思います。

また、午前中の児童館では、地域の方々の利用にも供しており、利用者のみなさまの生きがいづくりに寄与する場となっております。これから宮上児童館が、子どもから大人まで地域の方々の心身共に健康で健やかに暮らせる社会づくりに貢献できる場になることを、心から願っています。

あいはいら

人の和 地域の輪

仕事だけに集中して、地域の事を何も知らずに過ごしてきてしまった方のエピソードです。退職後ハッとして、「近所に声をかけ、一品持ち寄りの「近所の会」を開くことにしました。楽しいひと時を過ごすうちに、一品・二品と品数が増え、年1・2回の宴会は、会社とは違う人の和を感じるようになりました。自治会運営にも携わるようになってきました。役員会、地区委員会、行事実行委員会など、当初はきこちなかった人間関係が、回を重ねるごと

はしもと

「ちょこボラ」のおすすめ

ちょこっとした困りごとの支援をする「ちょこボラ」が重宝されています。

最近、一人住まいの高齢者、高齢夫婦などの間で、これまでは自分でできていた「ちょこっとしたこと」ができず、頼める人も近くにいないで困っている人が増えているようです。橋本地区でも同様の傾向が見られ、「どこで」「誰に」相談していいものか悩んでおられる方もおられるようです。

に表情が緩んできて、1年が終わる頃には別れを惜しむようになっていました。

昨年、民生委員・児童委員を拝命しました。独り住まいのお年寄りの家を月1回程度訪問しています。最初は緊張しましたが、最近は気軽に訪問できるようになってきました。そんなある日、暫くぶりに訪問した家で「この頃、顔を見せなかったね。心配していたんだよ。」と温かい声をかけていただきました。近所の人の和に励まされ、地域の輪に喜びを感じ、多くの心優しい方々と知り合うことが出来ました。心の財

「ちょこボラ」がお手伝いできる

内容は、話し相手、蛍光灯の交換、窓ふき、小型家具の移動、買い物、庭木の剪定、庭の草取り、ごみ出しなどで、簡易な作業が中心です。

橋本地区にも、いくつかのボランティアグループがあり、緑ボランティアセンターへご相談いただければ、対応できるグループを紹介、具体的に打ち合わせることが可能となります。

ちょこっとした困りごとに対応が可能な「ちょこボラ」の活用をおすすめします。

〈連絡先〉 緑ボランティアセンター
TEL 042-775-1761



大勢の人でにぎわうふるさとまつり

小さなきっかけで始めたふれあい、ボランティアの喜びにつながった、ほっこりするお話です。

ふれあい事業

橋本地区

地区社協の高齢者福祉事業

〈敬老事業〉

① 祝品配付事業、長寿を祝う目的で、毎年10〜11月、祝いの品をお渡ししています。対象は80歳以上（当該年度4月1日時点）の方で、令和5年度は4,766名の方に「お茶」をお渡ししました。

実施団体は、地区社協・自治会連合会・民生委員児童委員協議会・老人クラブの4団体で、民生委員が祝いの品を配付しています。



② 感謝状贈呈事業、高齢者の日頃の活動に対し、感謝の意を表し、いきがいつくりや地域の安全安心の向上等の促進を図ることを目的として、感謝状を贈呈しています。令和5年度の対象者は5名でした。



〈米寿祝記念事業〉

米寿をむかえられたことにお祝いを申し上げ、一層のご健勝とご多幸をお祈りし、賞状（寿詞）と記念品を贈呈しています。

対象年の4月1日〜翌年3月31日に88歳の誕生日を迎える方が対象で、令和5年度の対象は289名でした。

記念品は「敬老事業」でお渡ししたお茶を楽しんでいたように陶器の「湯呑」です。地区社協の単独事業で、民生委員が記念品の配付を協力しています。

〈おたすけケース事業〉 独居高齢者、高齢者のみ世帯、民生委員が「必要ではないか」と判断した個人に対して、黄色の筒状のケース（「病歴」「服用薬」「緊急連絡先」等記入した用紙が入っている）を配布しています。

目的は、緊急時に救急隊員などが見て、素早い対応や、連絡が取れるようにできることです。費用負担は地区社協、配付は民生委員と連携事業。現状約1,600ケースを配布しています。



「地域ケア会議」の取組

地域づくり部会

歳を重ねても生きがいを持ち、役割や居場所のある生活を送ることは、だれもの願いではないでしょうか。地域ケア会議地域づくり部会（以下「部会」）は、住民の皆さんの創意工夫・協力の下に高齢者の健康づくりや地域への参加を進め、安心して暮らせる地域づくりを目指し、相模原市が各地区に設置する会議体です。

部会は、市内29圏域に設置されている地域包括支援センター（以下「センター」）毎に、自治会や民生委員、地区社協、老人クラブをはじめとした地域団体等の代表者により構成されており、センターと市社会福祉協議会の地区担当職員（CSW）とが事務局として協働で運営する体制となっています。

橋本地区における地域づくり部会

橋本地区の部会は、橋本と相原の2つのセンターがあるため両センター合同での開催としており、主に高齢者の地域活動への参加とこの活動を支える担い手づくりに向けた協議・検討を行っています。今年度については、部会参加団体



香福寺の見学会

の1つである地区社協が設けたLINEの公式アカウントを活用し、地域活動への参加に関心はあるが、何ができるのか分からないといった方に登録をする取組みと、登録者が一歩前に出られるよう後押しをするための企画・情報の発信をする取組みを進めています。

つながりづくり×役割づくり

この一環として、11月には香福寺と「ふれあいの家ぬくもり」の見学会を企画し、LINEを通じて参加を募りました。当日は、ボランティア活動等について懇談の中で話が盛り上がり、参加者の一人が講師役となり次に集まる企画を立てることとなりました。

このように気軽に集まる機会を重ねると人とつながり、役割づくりと高齢者をはじめとした地域の皆さんの居場所づくりが進むことを目指しています。